

# 講師紹介



**井垣 勉**

**オムロン株式会社 執行役員**

**グローバルインベスター&ブランドコミュニケーション本部長 兼 サステナビリティ推進担当**

**日本広報学会 常任理事 関西部会長 (21年度)**

**大阪機械広報懇話会 代表幹事 (21年度)**

オムロンのグローバルインベスター&ブランドコミュニケーション本部長として、世界約120の国と地域で事業を展開するグループ約130社のコミュニケーション活動を統括する。インベスターリレーション、シェアホルダーリレーション、パブリックリレーション、インターナルコミュニケーション、デジタルコミュニケーション、マーケティングコミュニケーション、ブランド戦略などの領域に責任を持つ。17年4月から現職。21年度からサステナビリティ推進担当も兼務する。

13年2月にオムロンに入社するまでは、日本コカ・コーラで約10年間にわたりコーポレートコミュニケーション部長を務める。それ以前は、コンサルティング会社のアンダーセンコンサルティング（現アクセンチュア）でのマーケティングコミュニケーションの経験に加え、PR会社のギャビンアンダーソン（現クレアブ）でコンサルタントを務めるなど、幅広い分野でコミュニケーション業務に従事したキャリアをもつ。大学卒業後に新卒で自動車メーカーのマツダに入社。7年余りにわたり、日本国内市場のマーケティングを担当した。

公職では、経済産業省「サステナブルな企業価値創造に向けた対話の実質化検討会」（19年度）と「サステナブルな企業価値創造のための長期経営・長期投資に資する対話研究会（SX研究会）」（21年度）の委員を務める。

経済広報センター「企業広報大賞」受賞（17年度）。日本経済新聞社「日経アニュアルレポートアワード」グランプリ受賞（17年度）・準グランプリ受賞（20年度）。日本証券アナリスト協会「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定（電気・精密機器部門）」受賞（18年度・20年度）。日本IR協議会「IR優良企業特別賞」受賞（18年度）。インターブランドジャパン「ジャパン・ブランディング・アワード2019」Winners賞受賞（19年度）。米誌「Institutional Investors」の「All Japan Executive Team Ranking」において5年連続で「Most Honored Company」に選出。

# オムロンの広報活動:コロナ禍を契機としてコミュニケーション活動をDX化

広報施設のデジタル化や自社スタジオの新設などで、  
ニューノーマル時代におけるコミュニケーション活動のDX化を加速。

施設名	概要	イメージ
バーチャルブース (2020年11月公開)	オムロンが実現する未来の社会をVRで体感・体験できる 仮想デジタル展示ブース空間	
バーチャル コミュニケーションプラザ (2021年3月公開)	社外向け広報施設「コミュニケーションプラザ」を3D空間に再現。オムロンの歴史と技術をVRで体感。リモート見学にも対応。	
バーチャル 立石一真 創業記念館 (2021年4月公開)	社員限定公開の「立石一真創業記念館」の一部を3D空間に再現して一般公開。	
自社スタジオ (2021年5月開設)	リモート会見など、自社放送向けのスタジオを新設。撮影・収録・配信・編集に対応。	

# 今回の見学施設: バーチャル「立石一真 創業記念館」

## 課題／解決策

- 新型コロナウイルスの影響で、長期間クローズせざるを得ない状況
- 他の広報施設同様に、デジタル活用でリアルな体験をできる方法がないかを検討



バーチャル技術を活かしたマーケティング活動の経験を  
活かし、360度ウォークスルー型のVR空間に再現



バーチャル 立石一真創業記念館

## 目的

- 感染防止はもとより、時間と空間を超えたグローバル社員の来場を可能とし、“創業者精神/ベンチャースピリット”を学ぶ機会を創出
- 社員のみ閉ざされている空間を対外的にも一部公開することで、オムロンの企業理念、創業者精神を広く共有し、共感と共鳴を拡げる機会とする

## 特長

- 展示エリアのみならず、住居棟・庭園まで360度ウォークスルー型のバーチャル空間を再現
- 他の広報施設と同様に、WEB会議システムを活用し、リモート見学ツアーを実現



住居棟 ※社員限定公開

## 成果

開設以来、コロナ前の通常見学時のペースを上回って、世界中の社員が来場。他社からのヒアリング依頼も多数。